

平成22年度 新潟県立歴史博物館 講座のご案内

前期(2010年 4月～9月)

日	曜	講座名	内容	対象	定員	集合場所	時間	講師・担当	持ち物等	申込方法
4月24日	土	企画展「旅つれづれ」関連体験イベント「弁慶の力餅」を食べる会①	北国街道の米山峠(現柏崎市)にあった茶屋名物「弁慶の力餅」を再現し、試食します。	一般	50	研修室(予定)	13:30～15:00	米山地区コミュニティ振興協議会	—	電話、葉書、FAX、メール
4月25日	日	企画展「旅つれづれ」記念講演会「江戸の女たちの冒険～関所抜け～」金森敦子氏	大胆に関所抜けをくり返しながら旅を続けた江戸時代の女性たち。旅日記から旅と関所の実態を探ります。	一般	150	講堂	13:30～15:00	ノンフィクション作家 金森 敦子 氏	—	電話、葉書、FAX、メール
5月8日	土	企画展「旅つれづれ」関連講座 江戸時代の越後を旅した人びと	江戸時代の越後を旅した人々の記録を読み解きながら、彼らが立ち寄った越後の名所・旧跡などを探ります。	一般	50	研修室	13:30～15:00	渡部 研究員	—	電話、葉書、FAX、メール
5月15日	土	企画展「旅つれづれ」関連体験イベント「弁慶の力餅」を食べる会②	4月24日(土)「弁慶の力餅」を食べる会① と同じ内容です。	一般	50	研修室(予定)	13:30～15:00	米山地区コミュニティ振興協議会	—	電話、葉書、FAX、メール
5月16日	日	企画展「旅つれづれ」記念講演会「信仰のなかの旅」真野 俊和 氏	昔の日本人にとって大きな意義をもった信仰の旅を、四国遍路、西国巡礼や伊勢参宮などを中心に考えます	一般	150	講堂	13:30～15:00	元筑波大学 教授 真野 俊和 氏	—	電話、葉書、FAX、メール
5月22日	土	企画展「旅つれづれ」関連講座 近代日本におけるメディアと庶民意識～名所と絵葉書～	近代以降の名所について、県立歴史博物館蔵「笹川コレクション」絵葉書を素材に探ります。	一般	50	研修室	13:30～15:00	田邊 研究員	—	電話、葉書、FAX、メール
5月29日	土	企画展「旅つれづれ」関連講座 新しい明治の旅日記 田所 和雄 氏 (『長岡市史双書』を読む会特別講座)	中越大地震後に救出され初公開の長岡市小国地域・青柳家の資料の中から、明治後期の汽車・汽船等を用いた63日間の大旅行と、富士登山隊100余名の団体旅行の旅日記をよんで、新しい時代の旅の姿を探ります。	一般	50	研修室	13:30～15:00	地域史研究家 田所 和雄 氏	—	電話、葉書、FAX、メール
5月30日	日	開館10周年記念連続講座「シリーズ日本海」1 古代北陸道の海の道	奈良平安時代、都と越後佐渡を結んだ交通は、陸路だけではありませんでした。古代の海上交通について明らかにします。	一般	50	研修室	13:30～15:00	浅井 研究員	—	電話、葉書、FAX、メール
6月5日	土	楽しい古文書講座(初級編1)	基本的な文字のくずしや言い回しなどについて学び、古文書に親しみます。対象者は古文書初級者とします。(なお、古文書講座経験者は、後期開催予定の「楽しい古文書講座(中級編)」を受講ください。)	一般	35	研修室	13:30～15:00	田邊 研究員	—	電話、葉書、FAX、メール
6月6日	日	佐渡人形芝居上演会(2回上演)	国指定重要無形民俗文化財である佐渡の人形芝居の上演会。午前は「那須与一西海碇(なすのよいちにしうみすずり)、午後は「一谷嫩軍記(いちのたにふたばぐんき)」の一場面を上演する予定です。また、今回はたいへんユニークな「のろま人形」の上演も予定しています。	一般、親子、小中学生	各150	講堂	①10:30～12:00 ②13:30～15:00	佐渡真明座	—	電話、葉書、FAX、メール
6月12日	土	楽しい古文書講座(初級編2)	シリーズの2回目	一般	35	研修室	13:30～15:00	田邊 研究員	—	電話、葉書、FAX、メール
6月19日	土	楽しい古文書講座(初級編3)	シリーズの3回目	一般	35	研修室	13:30～15:00	田邊 研究員	—	電話、葉書、FAX、メール
6月26日	土	楽しい古文書講座(初級編4)	シリーズの4回目	一般	35	研修室	13:30～15:00	田邊 研究員	—	電話、葉書、FAX、メール
7月4日	日	体験講座 樹皮編みに挑戦	縄文時代から続く技術である木の皮を使ったかご編みを体験します。	一般	15	研修室	13:30～15:00	西田 研究員	—	電話、葉書、FAX、メール
7月11日	日	開館10周年記念連続講座「シリーズ日本海」2 縄文土器から見た日本海～能登から越後・佐渡そして男鹿～	縄文時代中期、土器の顔つき(様相)を能登半島から越後・佐渡、そして男鹿半島の範囲で概観します。そして、そこには人間集団の範疇(土器型式)を越えて土器が動くという事実を明らかにすると共に、その動きの背景に何が存在するのかを探ります。	一般	50	研修室	13:30～15:00	寺崎 研究員	—	電話、葉書、FAX、メール
7月25日	日	開館10周年記念連続講座「シリーズ日本海」3 先史古代の日本海の玉	縄文時代から古墳時代にかけて勾玉や管玉を専門に製作した工房跡が日本海側に多く知られています。それぞれの特徴について解説します。	一般	50	研修室	13:30～15:00	西田 研究員	—	電話、葉書、FAX、メール

7月31日	土	体験講座 古代の木簡を作ってみよう	奈良平安時代には紙の代わりに木の板に文字を記す“木簡”というものが使われました。この木簡の形や用途について説明し、実際に木簡を作ってみます。	一般、親子、小中学生	20	研修室	13:30～15:00	浅井 研究員	—	電話、葉書、FAX、メール
8月8日	日	開館10周年記念特別展「日本海の至宝」記念特別鼎談「縄文、弥生、そして日本海」(仮) 小林 達雄、金関 恕氏、松本 岩雄氏	小林達雄名誉館長と弥生時代研究の第一人者金関恕氏に、松本岩雄氏を加え、縄文・弥生・日本海をキーワードに語り合ってください。	一般	150	講堂	13:30～16:00	当館名誉館長 小林 達雄 大阪府立弥生文化博物館館長 金関 恕氏 島根県立古代出雲博物館学芸部長 松本岩雄氏	—	電話、葉書、FAX、メール
8月21日 8月28日	土 土	体験講座 土偶を作ってみよう(2回連続)	縄文時代の土製品について、焼成の必要ない紙粘土などを用いて造形します。2回連続で講座を行います。第1回は保護者のみを対象に、土偶作りについて実習します。第2回は親子で参加し、保護者から子どもへ土偶作りを説明して、製作します。親子以外でもペアならば参加可能です。	親子(ペア)	20組	研修室	13:30～15:00	宮尾 研究員	—	電話、葉書、FAX、メール
8月22日	日	開館10周年記念特別展「日本海の至宝」記念講演会「東北から見る日本海」(仮) 赤坂 憲雄氏	東北の忘れられた文化や歴史を掘り起こし、「東北学」という新たな知の地平を拓いてゆく赤坂憲雄氏が、「日本海」をキーワードに、新たな列島の民俗史について語ります。	一般	150	講堂	13:30～15:00	東北芸術工科大学教授 福島県立博物館館長 赤坂 憲雄氏	—	電話、葉書、FAX、メール
8月29日	日	開館10周年記念特別展「日本海の至宝」記念講演会「出雲神話と日本海」 小川直之氏	出雲神話から読み解く日本文化の特質を、日本海地域の民俗文化に焦点をあてながら考えます。	一般	150	講堂	13:30～15:00	國學院大學 教授 小川直之氏 ※都合により講師が変更となりました。	—	電話、葉書、FAX、メール
9月5日	日	開館10周年記念特別展「日本海の至宝」関連講座 古代の金属製品をつくろう(2回)	10周年記念特別展「日本海の至宝」に展示される古代の金属製品のミニチュアを、低融点合金を使用して製作します。シリコンの鑄型に合金を注入して製作。それを磨いて完成させます。	小学4年生以上	各10	研修室	①10:00～12:00 ②13:30～15:30	山本 研究員	小学生は保護者同伴	電話、葉書、FAX、メール
9月12日	日	開館10周年記念連続講座「シリーズ日本海」4 釜山絵巻からみる石見銀山と佐渡金銀山	石見銀山(平成19年、世界遺産に登録)と佐渡金銀山(平成20年、世界遺産暫定一覧表に記載)は、日本海を通じて深い結びつきがありました。石見銀山絵巻、佐渡金銀山絵巻の比較を中心に、両者の技術的な交流を検討します。	一般	50	研修室	13:30～15:00	渡部 研究員	—	電話、葉書、FAX、メール
9月18日	土	縄文土器からうかがう越後・佐渡1 火炎土器様式の頃	縄文土器から分かる縄文社会の一面を述べると共に、火炎土器様式を通してみえてくる越後・佐渡の地域性を具体的に示します。	一般	50	研修室	13:30～15:00	寺崎 研究員	—	電話、葉書、FAX、メール
9月26日	日	開館10周年記念連続講座「シリーズ日本海」5 上杉景勝の佐渡渡海・朝鮮渡海	上杉景勝は自ら日本海を渡り、佐渡を支配下におさめて越後・佐渡を統一しました。さらに豊臣秀吉の朝鮮出兵にも参加して日本海を渡っています。景勝の渡海について、当時の歴史的な背景を含めて解説します。	一般	50	研修室	13:30～15:00	前嶋 研究員	—	電話、葉書、FAX、メール

＜申込方法・手続き＞

・申込方法は、「電話」「葉書」「ファックス」または「メール」での申込となります。いずれも、希望講座名、お名前、住所、電話番号の4項目を明記してください。

* 講師都合等による実施日の延期(中止)ということもあります。その際、申込者にはご連絡をいたしますが、お申込されていない方へはご連絡できませんので、ご注意ください。

※ 申込先

〒940-2035 新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2 新潟県立歴史博物館 交流普及課

FAX:0258-47-6136 TEL:0258-47-6135 メール:koryu@nbz.or.jp

※ お申し込みいただいた際の個人情報、今後の講座や講演会・イベント等のご案内に使用させていただくことがあります。

携帯電話からの申し込みメールはこちらからのQRコードをご利用ください。



春季企画展「旅つれづれ」(4月17日(土)～5月30日(日))関連イベント

☆ 体験ツアー(詳細は別紙「体験ツアーパンフレット」をご覧ください)

※申込受付は4月1日(木)より

日	曜	見学会名	内 容	定員	集合場所	講師・担当	その他(参加費用等)
5月9日	日	企画展「旅つれづれ」関連体験ツアー① 親鸞聖人七不思議をめぐる旅	県立歴史博物館(7:10)ー長岡駅東口(7:30)ー新潟駅南口(8:30) = 磐越道 = 新津 煮坪(にへつぼ)跡 = 田上の繋ぎ櫃(つなぎがや) <田上町・了玄寺> = 保田の三度栗<阿賀野市・孝順寺> = 小島の八房の梅、小島の数珠掛け桜<阿賀野市・梅護寺> = 五十嵐邸ガーデン(昼食:屋のミニ懐石) = R49 = 鳥屋野の逆さ竹<新潟市・西方寺> = 山田の焼鮎<新潟市・田代家> = 新潟ふるさと村 = 新潟駅南口(17:10予定)ー長岡駅東口(18:10予定)ー県立歴史博物館(18:30予定)	40	歴史博物館 長岡駅東口 新潟駅南口	渡部 研究員	参加費用 8700円(昼食付、大人・小人同額) 最少催行人員 20名
5月23日	日	企画展「旅つれづれ」関連体験ツアー② 三国峠をめぐる旅 ～脇本陣と大名御膳～	県立歴史博物館(8:10)ー長岡駅東口(8:30) = 妙見船番所跡(妙見宿) = 毘沙門堂(浦佐宿) = 八木沢観音堂・八木沢口留番所跡 = 池田屋(三俣宿脇本陣跡) <昼食:復元大名御膳> = 富沢家(二居宿本陣跡) = 三国峠(ミニ散策) = ホテル御宿本陣(浅貝宿本陣跡) <入浴>ー県立歴史博物館(18:00予定)ー長岡駅東口(18:20予定)	40	歴史博物館 長岡駅東口	渡部 研究員	参加費用 8700円(昼食付、大人・小人同額) 最少催行人員 20名

※お問い合わせ・申込先：越後交通(株)観光センター

TEL 0120-865-615 もしくは (0258)30-0117 まで